
第28回
日本家族社会学会大会
プログラム

2018年9月8日（土）・9日（日）

開催校・会場：中央大学多摩キャンパス

大会日程

会場：中央大学多摩キャンパス

▼第1日 2018年9月8日(土) 受付開始 09:15～ 一階アカデミック・ラウンジ

10:00～ 12:30	自由報告(1) ① 家族と介護 ② 住まいと自立 ③ シングル テーマセッション(1)企画全体提案型:第4回全国家族調査(NFRJ18)に向けて一調査実施に向けた課題と展望一	3453 教室 3454 教室 3353 教室 3354 教室
12:30～ 14:00	昼休み 編集委員会(3152 教室) 研究活動委員会(3153 教室) 庶務委員会(3154 教室) NFRJ 委員会(3155 教室)	
13:00～ 14:00	ポスターセッション(質疑応答時間。掲示は1日目 12:30～2日目 14:00)	3253 教室
14:00～ 16:30	自由報告(2) ④ 家計と家事分担 ⑤ 科学・技術と家族 ⑥ 女性のライフコースとキャリア 国際セッション:高齢化するアジアにおける世代間関係—韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生が抱く高齢者イメージからの示唆—	3453 教室 3454 教室 3353 教室 3354 教室
16:45～ 18:00	総会	3114 教室
18:30～ 20:00	懇親会	ヒルトップ 2F

▼第2日 2018年9月9日(日) 受付開始 08:45～

09:15～ 10:45	自由報告(3) ⑦ 制度と意識 ⑧ パートナーシップ ⑨ 福祉とケアの社会化 テーマセッション(2)企画全体提案型:「子産み・子育て」に対する養育者・支援者体制・政策の関わり—フィンランド・ニュージーランド・日本の事例から—	3453 教室 3454 教室 3353 教室 3354 教室
11:00～ 13:00	自由報告(4) ⑩ 子育てと教育 ⑪ 障がいとケア ⑫ 家族と表象	3453 教室 3454 教室 3353 教室
12:45～ 14:00	昼休み 庶務委員会(3154 教室) NFRJ 委員会(3155 教室)	
13:10～ 14:10	ラウンドテーブル: 海外調査を考えている若手研究者のためのワークショップ	3254 教室
14:15～ 16:15	公開国際シンポジウム: 台湾家族の継続と変容—台湾若年研究プロジェクトから見てきたこと— 基調講演 Change and Continuity of Taiwanese Families:An Illustration from Taiwan Youth Project	3114 教室

会員控室 3255教室、 理事控室 3151教室、 大会本部 3251教室、
書籍販売コーナー、抜き刷り交換コーナー 3252 教室

大会プログラム

第1日目 9月8日(土)

受付時間 9:15~

午前の部 10:00~12:30

自由報告(1)

①家族と介護(3453教室)

司会 水嶋陽子(常磐大学)

- ①-1 ライフコースにおける家族介護の実施
—中高年者縦断調査を用いた分析—
- ①-2 ダブルケア状態の要因分析
—社会・経済的属性と晩婚化に着目して—
- ①-3 介護を担う若者は、家族の中でどのような立場に置かれているのか?
- ①-4 現代中国における中小地方都市
—河南省駐馬店に在住する高齢者と成人子の世代間関係—

中村真理子(国立社会保障・人口問題研究所)

南 拓磨(明治大学・院)

松崎実穂(日本女子大学)

李 姝(中央大学・院)

②住まいと自立(3454教室)

司会 西村純子(お茶の水女子大学)

- ②-1 誰が親元にとどまるのか
—大規模社会調査データを用いた相対所得仮説の検証—
- ②-2 子どもの巣立ちは夫婦関係に影響するのか
—パネルデータによる検討—
- ②-3 困難家族のひきこもり問題認知をめぐる語り
—生育に関わる「過失」と「援助」の間で—
- ②-4 ホームレス状態から住まいを得ることはどのような経験か

吉田俊文(慶應義塾大学・院)

西野理子(東洋大学)

古賀正義(中央大学)

杉野衣代(お茶の水女子大学・院)

③シングル(3353教室)

司会 神原文子(神戸学院大学)

- ③-1 社会階層からみる母子世帯の就労と経済的自立
- ③-2 シングルマザーのワーク・ファミリー・バランスに関する生活戦略
—社会経済的地位および仕事環境との関連性—
- ③-3 日本における離別後の親権と共同養育についての考察
—日台比較研究の視点から①—
- ③-4 台湾における離別後の親権と共同養育についての考察
—日台比較研究の視点から②—
- ③-5 Widowhood and its Implications in Nepalese Society

斉藤知洋(立教大学)

末盛 慶(日本福祉大学)

山西裕美(熊本学園大学)

周 典芳(台湾慈濟大学)

周 典芳(台湾慈濟大学)

山西裕美(熊本学園大学)

THAPA Kabita(Chubu University・院)

テーマセッション（１）企画全体提案型

第４回全国家族調査（NFRJ18）に向けて—調査実施に向けた課題と展望—（３３５４教室）

オーガナイザー・司会 田淵六郎（上智大学）

- | | |
|---|------------------------------|
| (1)-1 NFRJ18 実施に向けた研究活動と今後の計画 | 田淵六郎（上智大学） |
| (1)-2 NFRJ18 実施に向けた研究レビュー | 松田茂樹（中京大学） |
| (1)-3 NFRJ における調査項目モジュール化の試み | 吉田 崇（静岡大学） |
| (1)-4 NFRJ18 プリテストによる成果と NFRJ 質的調査グループの活動 | 木戸 功（聖心女子大学）
永井暁子（日本女子大学） |
| (1)-5 NFRJ18 の調査設計について | 保田時男（関西大学） |

ポスターセッション（３２５３教室）

展示時間 １日目 12:30～ ２日目 14:00 質疑応答時間 13:00～14:00

- | | |
|--|--|
| P-1 結婚をめぐる若者の意識
—「高卒パネル調査」にみる家族形成初期のジェンダー差— | 鈴木富美子（東京大学） |
| P-2 共働き世帯にみられる「教育する家族」のジレンマ
—働く母親による幼児期からの徹底育児— | 額賀美紗子（東京大学）
藤田結子（明治大学） |
| P-3 親世代との居住距離は子ども数に影響を与えるか
—イベントヒストリー分析とベイズ推定によるアプローチ— | 鈴木貴士（筑波大学・院）
尾崎幸謙（筑波大学） |
| P-4 Toward the Development of New Survey Questions about Dependents : An Exploratory Study Inspired by the Responsibilities for Dependents (RFD) Scale | Megumi Watanabe (Hiroshima University) |
| P-5 ひろば型子育て支援の類型別利用状況と利用効果
—札幌市における乳幼児保護者調査から— | 工藤 遥（北海道大学・院） |

昼食・委員会 12:30～14:00

午後の部 14:00～16:30

自由報告（２）

④家計と家事分担（３４５３教室）

司会 施 利平（明治大学）

- | | |
|---|----------------------|
| ④-1 企業の男女平等・両立支援施策と家事分担・配偶者と過ごす時間の関連 | 不破麻紀子（首都大学東京） |
| ④-2 夫妻の家事・育児頻度はどのように変わったか？
—『21世紀出生児縦断調査』H13年コホートとH22年コホートによる比較— | 福田節也（国立社会保障・人口問題研究所） |
| ④-3 共働き世帯における家計管理パターンの規定要因 | コルムシ・オリガ（お茶の水女子大学・院） |
| ④-4 男性の性別役割観と家事・育児
—ケアリングマスキュリニティを主な概念として— | 相川頌子（お茶の水女子大学・院） |
| ④-5 核家族世帯における子どもの家事手伝い
—父親・母親の影響に着目して— | 森中典子（お茶の水女子大学・院） |

⑤科学・技術と家族（3454教室）

- ⑤-1 母親と父親の育児行動頻度と子育てに関する IT 利用の関わり 日米比較
- ⑤-2 未就学児を持つ母親の ICT 利用と生活充実感
—日本と韓国・米国・スウェーデンの比較から—
- ⑤-3 男性不妊をめぐる家族の相互行為
—ゴフマンのスティグマ論に依拠して—
- ⑤-4 「家族」のために利用される出生前検査
—母親／父親における 2 人目の出産という課題—
- ⑤-5 生殖補助医療における「遺伝的なつながり」の多義性と家族

司会 和泉広恵（日本女子大学）

佐野潤子（お茶の水女子大学）

岡村利恵（お茶の水女子大学）

竹家一美（お茶の水女子大学・院、
日本学術振興会）

菅野摂子（立教大学）

三品拓人（大阪大学・院）

⑥女性のライフコースとキャリア（3353教室）

- ⑥-1 共働きの妻のキャリア意識と夫に対する子育てのゲート
キーピング行動との関連
- ⑥-2 鹿児島県における妻の働き方と「女性の仕事」
- ⑥-3 日本における無子女性に関する分析
- ⑥-4 ミドル期シングル女性の生活設計に対する肯定感
—家計管理と親の資源からの検討—

司会 久保桂子（千葉大学）

中川まり（東京女子大学）

高丸理香（鹿児島大学）

守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

大風 薫（お茶の水女子大学）

国際セッション

高齢化するアジアにおける世代間関係

—韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生が抱く高齢者イメージからの示唆—（3354教室）

オーガナイザー・司会 金 恵媛（山口県立大学）

討論者 奥山正司（東京経済大学）

- (2)-1 日本・韓国・タイ・シンガポールの高齢化事情と世代
関係からの示唆

金 恵媛（山口県立大学）

- (2)-2 韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生の高齢者イ
メージ

畔津忠博（山口県立大学）

吉永敦征（山口県立大学）

- (2)-3 What are key factors of intergenerational relationship in Korea?

Donghee Han（Research Institute of Science for
the better Living of the Elderly）

- (2)-4 シンガポールの大学生が抱く高齢者イメージの特徴と
背景

金 恵媛（山口県立大学）

Thang Leng Leng（National University of Singapore）

- (2)-5 The inter-generational relationships among Thais

Kaysorn Sumpowthong（Thammasat University）

総会（3114教室）

16：45～18：00

懇親会（ヒルトップ2F）

18：30～20：00

第2日目 9月9日(日)

受付時間 8:45~

午前の部1 9:15~10:45

自由報告(3)

⑦制度と意識(3453教室)

司会 田中慶子(慶應義塾大学)

⑦-1 妻の氏を称する婚姻の割合の都道府県間の差について

犬飼直彦(早稲田大学・院)

⑦-2 誰が「三歳児神話」を支持するのか?

中西啓喜(早稲田大学)

—ISSP2012を用いた保育意識の国際比較分析—

福田紗耶香(九州大学・院)

西野勇人(立命館大学・院)

【報告キャンセル】

~~曹家寧(九州大学・院)~~

~~⑦-3 中国における都市政策の変遷と若年農民工の家族意識
—南京市の事例を通じて—~~

⑧パートナーシップ(3454教室)

司会 大瀧友織(大阪経済大学)

⑧-1 「解放」なのか「剥奪」なのか

岩澤美帆(国立社会保障・人口問題研究所)

—親密性基盤、経済基盤、結婚観から見る日本の
未婚化—

⑧-2 少子社会ドイツにおける若年世代の子ども願望

山本菜月(お茶の水女子大学・院)

⑧-3 ノン・モノガミー関係アイデンティティ化への問い

AKAI Haruka(California State University・院)

—クィア理論の観点からの試み—

⑨福祉とケアの社会化(3353教室)

司会 田中理絵(山口大学)

⑨-1 一時保護後の親子分離を規定する要因

藤間公太(国立社会保障・人口問題研究所)

—児童相談所虐待相談記録データを用いた探索的
分析—

余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)

⑨-2 家族/社会福祉のインターフェイスにおける「家庭で
あること」の諸相

安藤 藍(首都大学東京)

—社会的養護の担い手の語りをもとに—

⑨-3 養育里親の家族認知

大日義晴(日本女子大学)

テーマセッション(2)企画全体提案型

「子産み・子育て」に対する養育者・支援者体制・政策の関わり

—フィンランド・ニュージーランド・日本の事例から—(3354教室)

オーガナイザー・司会 中山まき子(同志社女子大学)

討論者 船橋恵子(静岡大学)

(3)-1 フィンランド・ネウボラと日本版ネウボラの比較にみ
る子育て支援政策

木脇奈智子(藤女子大学)

(3)-2 ニュージーランドの妊娠・出産・産後における当事者
中心のマタニティケア制度

古宇田千恵(Birth for the Future 研究会)

—Lead Maternity Carer 制度—

(3)-3 日本の子産み・子育てに対する当事者とその支援体制

中山まき子(同志社女子大学)

自由報告(4)

⑩子育てと教育(3453教室)

司会 多賀太(関西大学)

⑩-1 準拠枠としてのネットワークが親の教育態度に与える影響

荒牧草平(日本女子大学)

~~⑩-2 子育てサロンの利用経験による母親の子育て意識の差異~~~~遠山景広(北海道大学・院)~~

⑩-3 母親の仕事はどのように育児の問題となるのか

山岸諒己(一橋大学・院)

—育児の概念分析を通じた育児不安研究の再検討—

⑩-4 母親がもつ保育士への安心感の規定要因

水枝谷奈央(お茶の水女子大学・院)

—相談行為に着目して—

⑪障がいとケア(3454教室)

司会 土屋 葉(愛知大学)

⑪-1 ヤングケアラーと障がいのある親たち

澁谷智子(成蹊大学)

—1990~2000年代のイギリスにおける「ヤングケアラー」をめぐる議論—

⑪-2 障害者総合支援法以降グループホームを利用している／
したことがある高齢期知的障害者家族における親子
関係

染谷莉奈子(中央大学・院)

⑪-3 精神障害者同胞ときょうだいの距離感

阪井宏行(筑波大学・院)

名川 勝(筑波大学)

⑫家族と表象(3353教室)

司会 松木洋人(大阪市立大学)

⑫-1 キャラクターをめぐる母親の選好と子どもの選好の相互
作用

堀井香奈子(お茶の水女子大学・院)

⑫-2 女性雑誌が描くライフスタイルとファッションに関する
研究

高橋香苗(明治大学・院)

—想定読者の年齢差に着目して—

⑫-3 婚姻はいかに変わるのか

山崎智慧子(一橋大学・院)

—国際結婚事業を行った自治体における広報誌婚姻
欄の分析から—

⑫-4 韓国における主婦労働の意味付けの変容と専業主婦

柳 采延(東京大学・院)

昼食・委員会

12:45~14:00

ラウンドテーブル

13:10~14:10

海外調査を考えている若手研究者のためのワークショップ(3254教室)

企画: 久保田裕之(日本大学)・佐々木尚之(大阪商業大学)

菊地真理(大阪産業大学)・巽真理子(大阪府立大学)

オーガナイザー: 久保田裕之(日本大学)・巽真理子(大阪府立大学)

司会: 久保田裕之(日本大学)

話題提供者: 深海菊絵

藤間公太(国立社会保障・人口問題研究所)

台湾家族の継続と変容—台湾若年研究プロジェクトから見えてきたこと—（3 1 1 4 教室）

企画：白波瀬佐和子（東京大学）

余田翔平（国立社会保障・人口問題研究所）

司会：白波瀬佐和子（東京大学）

基調講演

Change and Continuity of Taiwanese Families:An Illustration from Taiwan Youth Project

Chin-Chun Yi (Academia Sinica, International Sociology Association RC06 会長)

討論者：太郎丸博（京都大学）

連絡事項

1. 参加登録及び参加費等の事前納付

● 大会参加登録

大会参加を希望される会員は、出来る限り、事前に参加登録と参加費等の納付を済ませてください。日本家族社会学会第28回大会ホームページ（日本家族社会学会ホームページより入る）から登録できます。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字8桁；上4桁は数字の0、下4桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

● 大会参加費・懇親会費の事前納付

事前納付は、郵便振替、あるいは、オンラインでの参加登録の際にカードでお支払いください。オンラインで参加登録される時に、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時にできます。

※今大会より、会員への郵便振替票の郵送が廃止となりましたので、郵便局に備え付けの払込取扱票をご利用になり、お振込みください。（他銀行から郵便振替口座へのお振込みも可能です。）大会費用の郵便振替口座は、Webより参加登録完了後、ご登録メールアドレス宛に自動配信される受付通知メールに記載されます。受付通知メールが不達の場合には、お早めにヘルプデスク <jsfs-desk@bunken.co.jp>までメールにてお問い合わせください。

なお、参加登録を当日行い、その場で支払うこともできますが、当日の受付業務の軽減のためにも、事前の参加登録と参加費等の納付をお願いします。事前登録された方には、ネームカードを用意します。事前に納付される方は、以下の通り、参加費等が割引となります。事前に登録されても、期限までに納付されない場合は、当日払いの費用になりますので、ご注意ください。

<<郵便振替またはカード払いの場合>>

* 郵便振替の場合の振込み手数料は本人負担となります（以下は手数料抜きの値段）。

一般：大会参加費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円） * 要旨集代含む
懇親会費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円） * 要旨集代含む
懇親会費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）

2. 事前登録・事前納付の期限

- 大会参加の事前登録と参加費等の事前納付の期限は、次の通りです。

	参加登録期限	参加費等事前納付期限
①Webによる参加登録 +郵便振替による納付	8月20日(月)	8月20日(月)
②Webによる参加登録 +カード支払い	8月23日(木) 24時まで	8月23日(木) 24時まで

- ①の場合は、Web上の参加登録及び郵便振替による参加費等の納付ともに締切は8月20日(月)です。
- ②の場合は、Web上で参加登録と参加費等の納付を同時に行うこととなります。その期限は8月23日(木)24時です。
- いずれの方法を採られる場合も、上記の期限は厳守してください。とくに期限を過ぎた参加費等の納付は「事前納付」とはみなさず、大会受付で、当日料金との差額をいただきます。
- いずれの方法を採られる場合も、参加費等を事前納付された後は、万一、大会にご出席できなくなっても、参加費等の払い戻しはできません。報告要旨集は後日郵送いたします。
- 常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は2018年5月31日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ料金設定になります。
- 非会員で参加をご希望の方は、参加費等の事前納付の対象にはなりませんので、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般4,500円、学生3,000円、懇親会

費は一般 4,500 円、学生 3,000 円です。

- 大会の参加受付は、第 1 日目（9 月 8 日）は午前 9 時 15 分、第 2 日目（9 月 9 日）は午前 8 時 45 分からです。
- 事前納付は、事前納付時の身分（一般／学生・会費減額申請が承認された会員）により行ってください。その後に身分変更があった場合、対応致しませんがご了承ください。

3. その他の注意事項

● 報告要旨集

大会当日受付でお渡しいたします。また、8 月 30 日（木）には大会ホームページ上で公開いたしますので、事前にご覧になりたい方はアクセスしてください。

● 懇親会

大会第 1 日目（9 月 8 日）午後 6 時 30 分より、ヒルトップ 2F にて懇親会を開催いたします。多くの会員と交流するチャンスです。ご参加いただければ幸いです。なお、懇親会費につきましても、事前納付された場合は、ご欠席されても払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。

● 昼食

8 月 6 日（月）ごろに、大会 HP 上でお弁当の予約受付の開始をお知らせします。ご希望の方は大会 HP をご覧ください。予約済みの方のみ 9 月 8 日（土）9 日（日）とも、ヒルトップ 1F にてお弁当を販売いたします。なお、食堂は営業していません。また、駅前のコンビニエンスストア以外、大学周辺にはレストラン等はほとんどございません。ご迷惑おかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

● 宿泊

宿泊につきましては、各自でお願いいたします。宿泊施設は混雑が予想されます。予約は早めにご手配ください。立川駅、多摩センター駅周辺が比較的便利です。新宿からは約 45 分かかります。

4. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告の報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分です。報告者と司会者は、セッション開始 10 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかににかかわらず、この時間に集合し、配布資料を会場係の学生にお渡しください。
- 大会当日の配布資料
自由報告は 50 部、企画全体提案型テーマセッションは 100 部を各自でご用意ください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。
- 自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い
参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- PowerPoint 等の使用に関する注意事項
 - a. 報告会場となるすべての教室では、教卓にノート型パソコン（Windows, Microsoft Office2016）が備え付けてあります。
 - b. Microsoft-Power Point 2016 の pptx もしくは ppt 形式、あるいは PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
 - c. 機器を使用する報告者は、部会開始 15 分前に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行いません。
 - d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
 - e. どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用なされたい場合、開催校では RGB ケーブルによる接続となります。
 - f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

5. 大会期間中の託児室の設置

- 大会中、「特定非営利活動法人保育サービスつくしんぼ」からの出張託児サービスを学内に準備いたします。ただし、利用は大会参加および託児を事前に申し込みされた方に限ります。利用をご希望の方は、日本家族社会学会大会ホームページをご覧ください。利用要領をご了解のうえ、2018年8月20日（月）までに大会実行委員会へメールにてお申し込みください。お問合せも下記アドレスまでお願いいたします。

申し込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@bunken.co.jp

6. その他

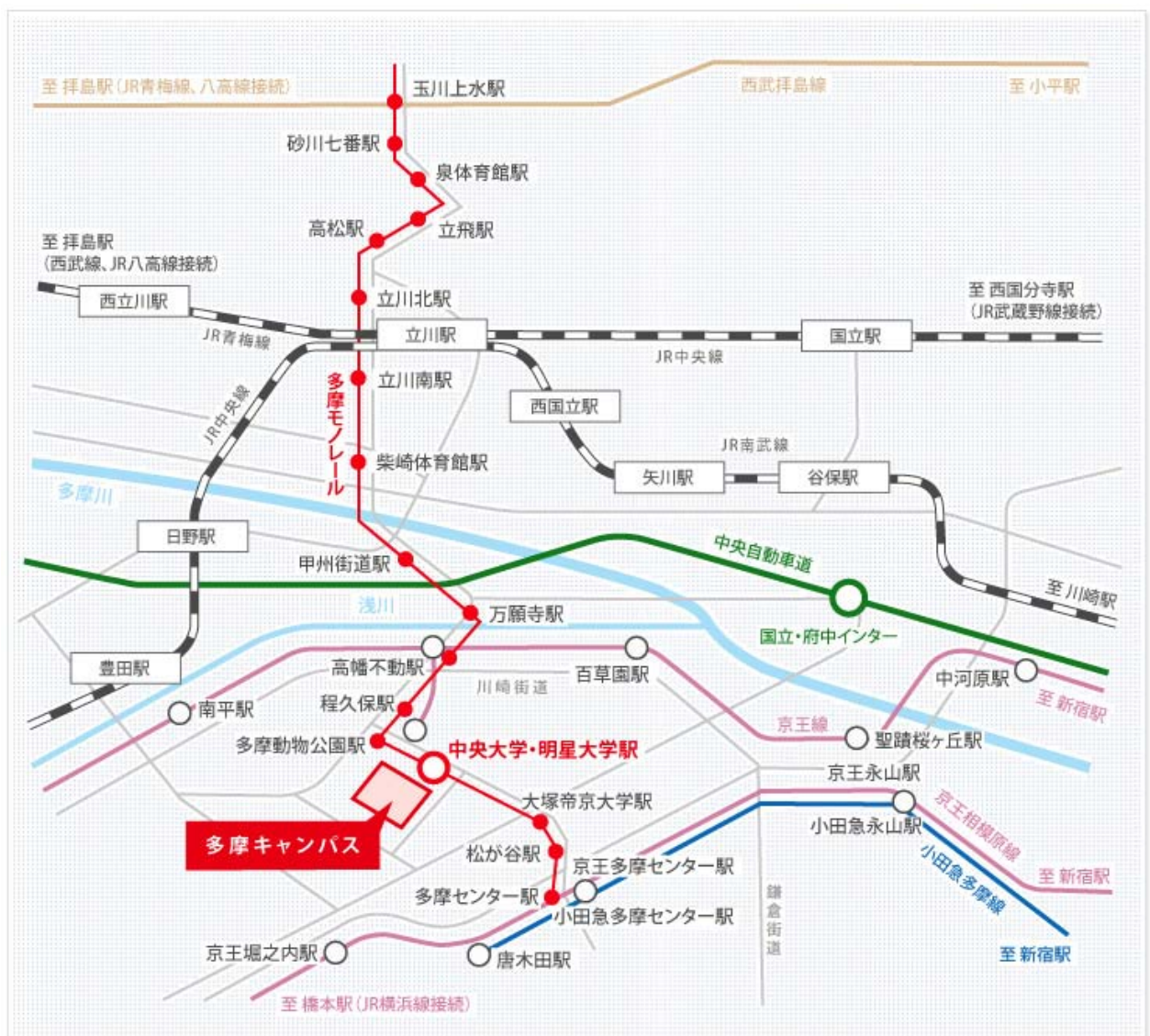
- 例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーを開設いたします。申し込み・問い合わせは大会実行委員会事務局宛にメールにてご連絡ください。
- 例年同様、抜き刷り交換コーナーを設けます。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ（<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2018/index.html>）にも同様の内容を掲載しています。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：中央大学多摩キャンパス
住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
メールアドレス：jsfs-taikai@bunken.co.jp
大会本部（大会当日）：3号館 3251 教室

【会場へのアクセス】



※ご来校は、公共交通機関をご利用ください。駐車場の利用はできません。
※正門、東門(モノレール口)にてバリアフリーマップをお渡ししております。

●多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』直結 徒歩 0 分
(モノレールは下記の駅から接続しております。)

- ・西武拝島線「玉川上水駅」
- ・京王線「高幡不動駅」
- ・京王相模原線「京王多摩センター駅」
- ・JR 中央線「立川駅」
- ・京王動物園線「多摩動物公園駅」
- ・小田急多摩線「小田急多摩センター駅」

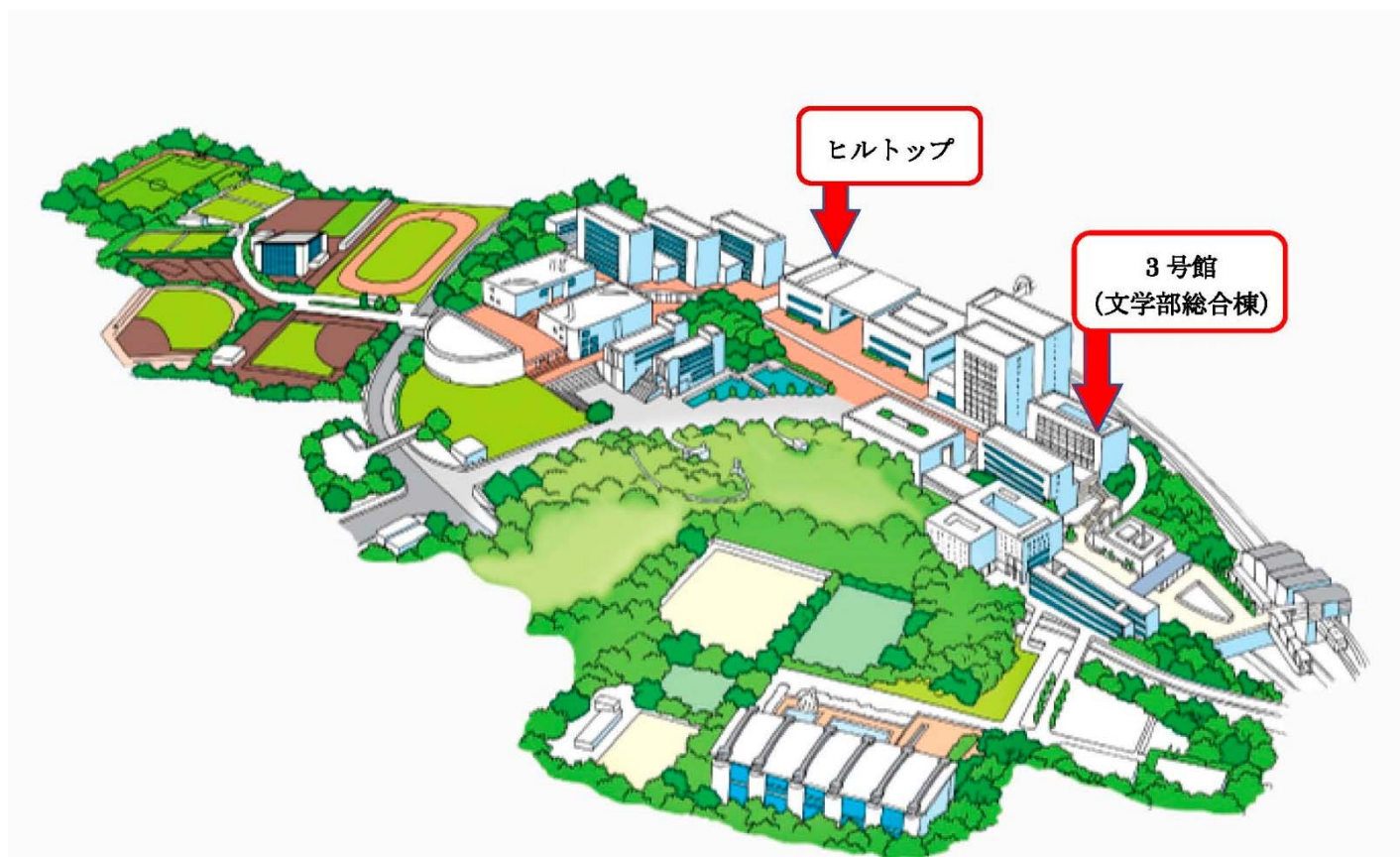
●京王動物園線『多摩動物公園駅』から徒歩約 10 分

●京王相模原線『京王多摩センター駅』下車、バス(13 番バス停)で約 12 分

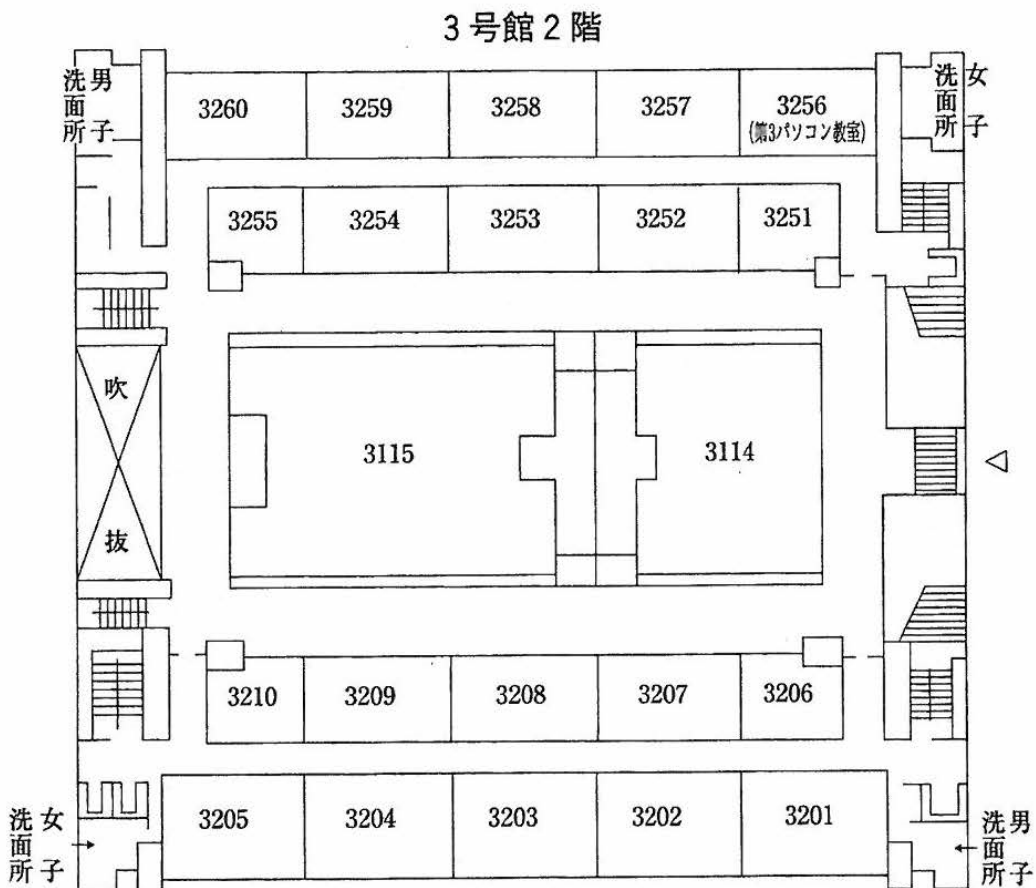
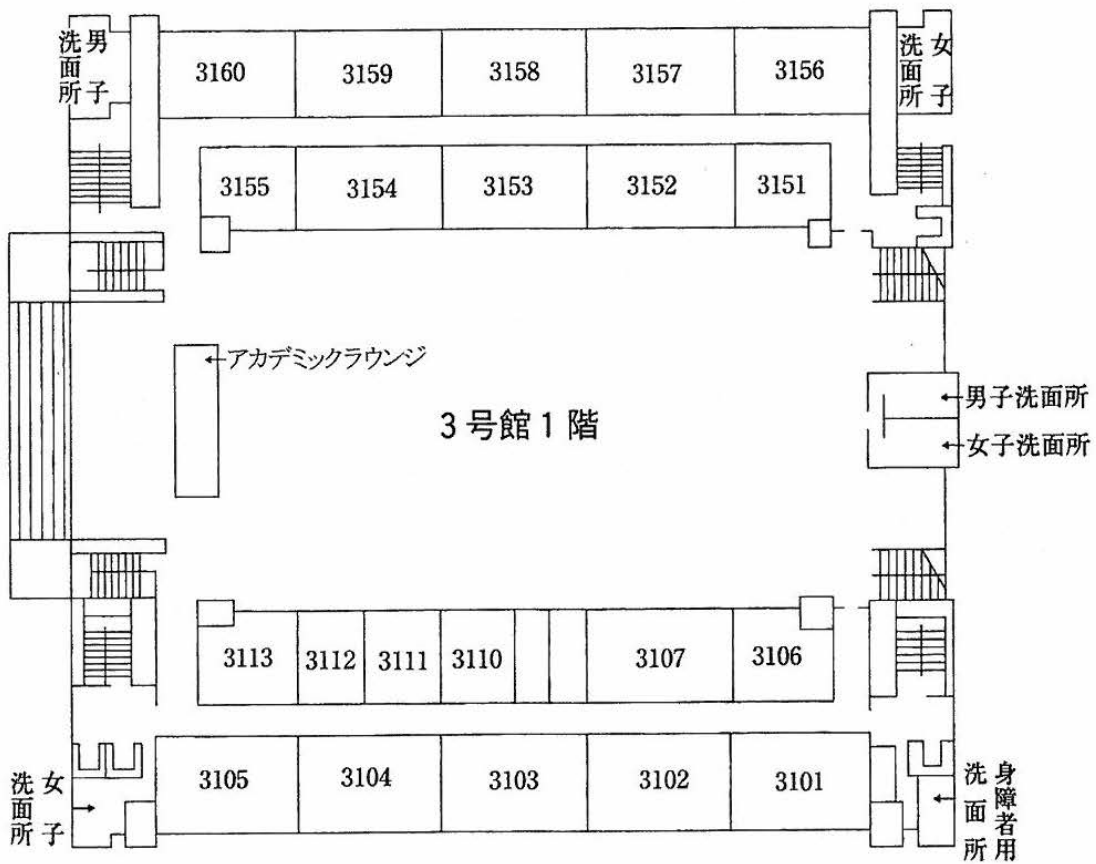
●小田急多摩線『小田急多摩センター駅』下車、バス(13 番バス停)で約 12 分

●JR 中央線『豊田駅』下車、バス(南口のりば)で約 15 分

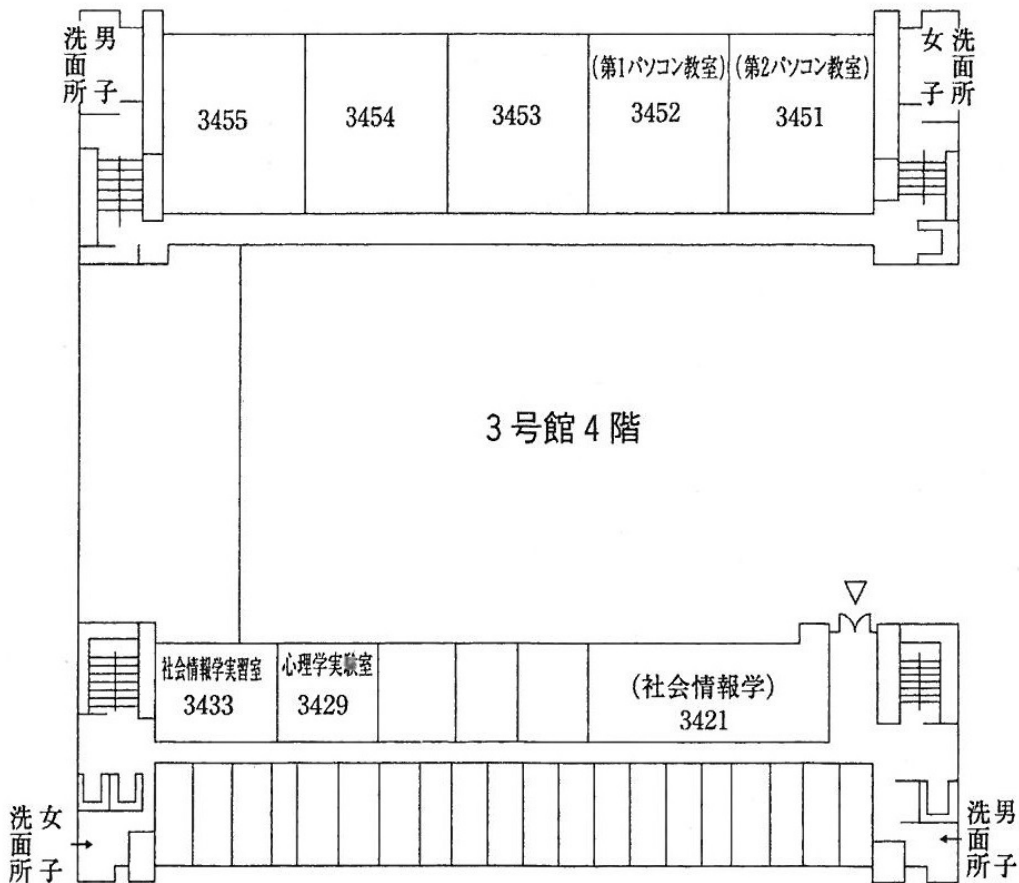
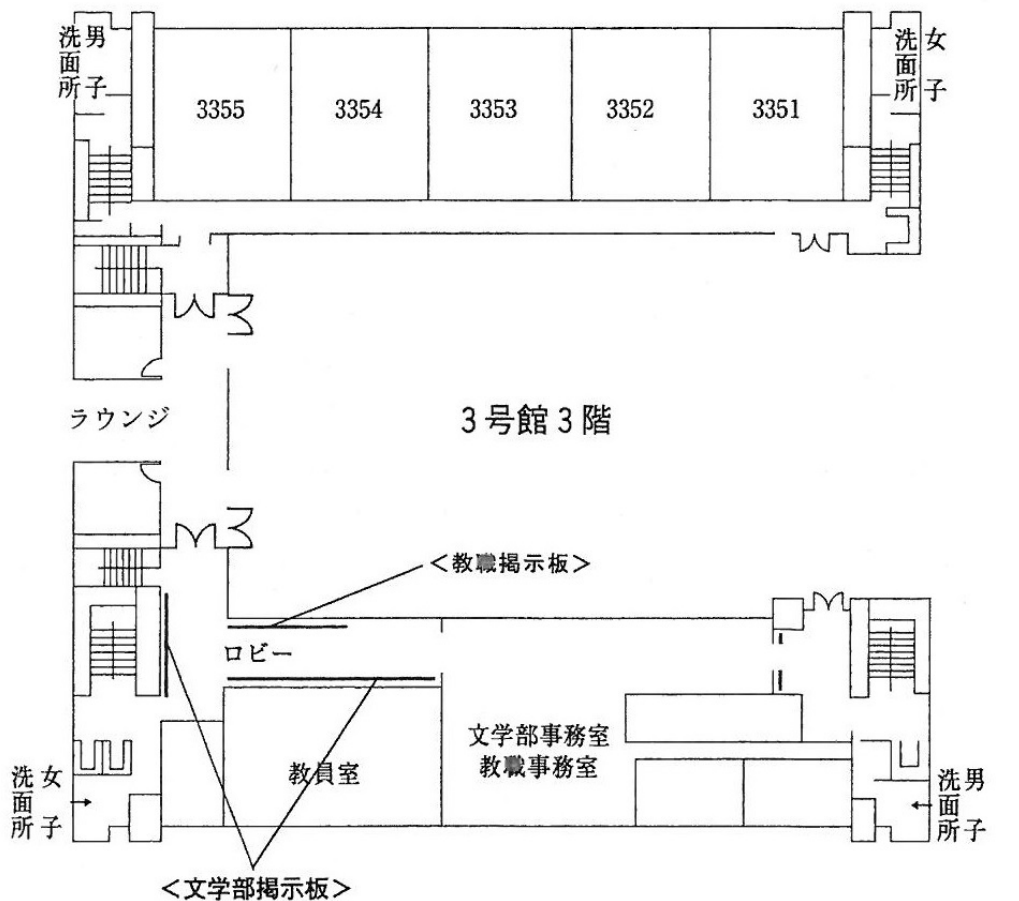
【多摩キャンパス内地図】



【3号館1階・2階マップ】



【3号館3階・4階マップ】



【大会実行委員】

実行委員長：山田昌弘

実行委員：天田城介